

2021年11月29日

## 遺伝子組換えセイヨウナタネの栽培試験を開始しました。

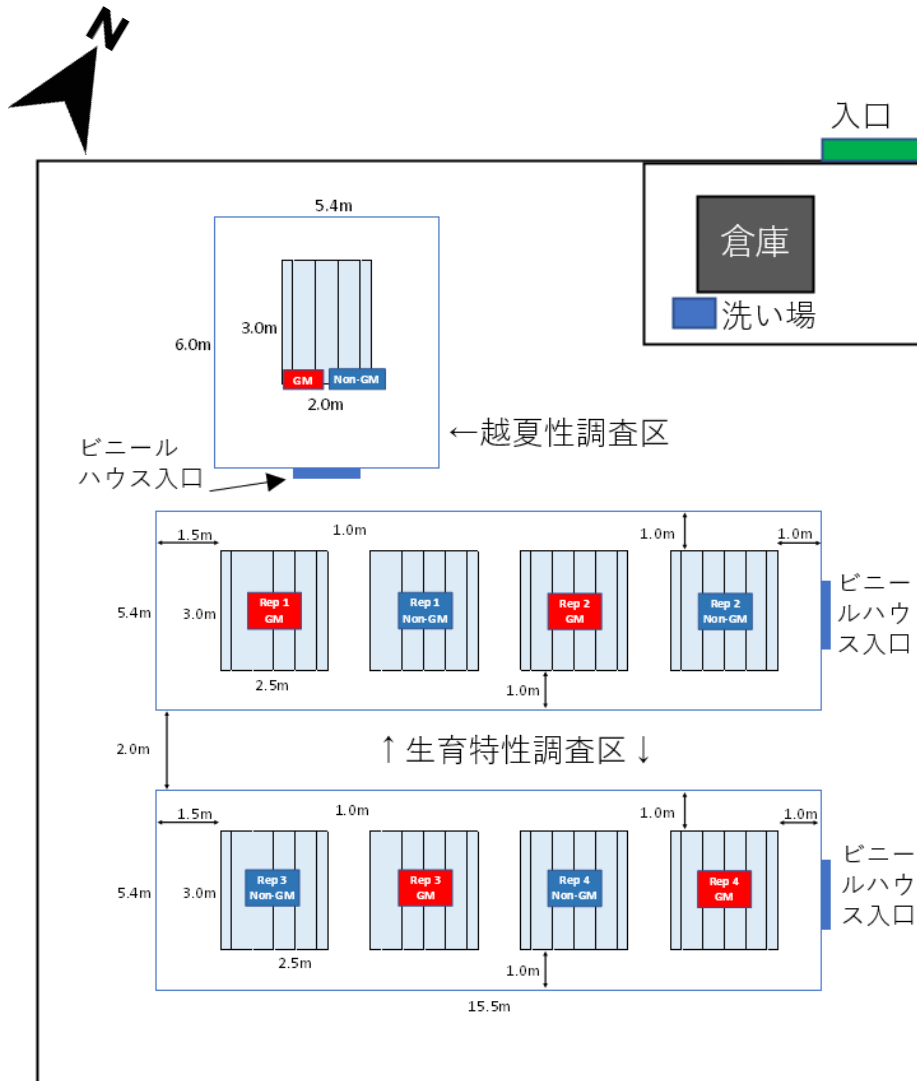
2021年8月5日に承認を得た「長鎖オメガ三系脂肪酸産生及び除草剤グルホシネート耐性セイヨウナタネ」(承認番号 21-46P-0007)の栽培試験を、第一種使用規程に基づき、筑波大学 T-PIRC の隔離ほ場(模擬的環境試験圃場V)で開始しました。

実験内容：組換えセイヨウナタネと非組換えセイヨウナタネの生育特性と成熟期後の高温下での越夏性を調査する。

材 料：長鎖オメガ三系脂肪酸産生及び除草剤グルホシネート耐性セイヨウナタネ(NS-B50027-4)と宿主である非組換えセイヨウナタネ(品種：AV Jade)

栽培方法：2021年11月29日、隔離ほ場内に建設したビニールハウス3棟内に、種子を播種した。試験区は、株間15cm、条間50cm、1条3m長の列を5列で1プロットとした。生育特性調査区はビニールハウス2棟内に4プロットずつ計8プロット配置し、遺伝子組換え区、非遺伝子組換え区4プロットずつを交互に配置した。越夏性調査区は、生育特性区よりも小さいビニールハウス1棟に配置し、遺伝子組換え用に2列、非遺伝子組換え用に2列播種した。播種は1か所に数粒ずつ行っているため、播種約1か月後である12月末頃に各列20個体となるように間引きを行う予定である。播種後の様子は、写真に示した(左：生育特性調査区、右：越夏性調査区)。





隔離ほ場（模擬的環境試験ほ場V）の区画配置

Rep\*は反復試験区の番号を示す。GMは遺伝子組換え区、Non GMは非遺伝子組換え区を栽培している。